

平成25年度（第36期）事業報告書

株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。ここに当社第36期事業概要についてご報告申し上げます。

当期における我が国経済はアベノミクス政策により15年以上続いたデフレ経済が終焉し日本経済はインフレの時代に移りつつあり、長引いた円高とデフレ経済から円安による本来の輸出産業への波及効果など経済拡大に期待が膨らんでまいりました。また昨年秋には『2020年東京オリンピック開催』が決定し経済、産業、スポーツ、文化などの分野で盛り上がりを見せており、平成26年4月からの消費税率8%への引き上げによる悪影響の懸念も緩和されるものと期待されております。

全国的に中心市街地が衰退する中、ここ中核市高槻は賑わいと活力ある“まちづくり”をめざし、平成21年12月に国（内閣府）の認定を受けた「高槻市中心市街地活性化基本計画」に基づく都市機能再生事業が活発化し、当社は微力ながら高槻市中心市街地活性化協議会事務局として再生事業推進及びPR活動に邁進してまいりました。JR高槻駅北東地区開発事業の「MUSEたかつき」の街開きも完了し、最後に残ったツイン高層マンション整備事業は完成目前であり、市民の皆様からは「住みやすさNo.1」施策として次なる中心市街地活性化施策への期待が膨らんでおります。

当社は昭和53年5月4日に、高槻市唯一の第三セクター・国鉄高槻駅南再開発事業の中核会社として設立され、今期は36周年を迎えることができました。

前期第35期は平成24年10月1日に創業35周年記念として株主の皆様にご1割の記念配当を実施しましたが、決算税務上で一時的とはいえ定年退職者の退職年金選択廃止による一時金払扱いとなり406万円の当期純損失を計上致しました。

主要業務であるJR高槻駅前広場の管理受託業務、再開発ビルのグリーンプラザたかつき1号館、3号館のビル管理業務、この周辺地域の駐輪施設事業、損害保険会社7社の代理店業務及び周辺付属業務を長年に亘り積み上げ信頼と信用を培って参りました。特に信頼と信用を基に三者協働の「駐輪機設置による駐輪施設」事業は、安全安心の「まちづくり」と共に清潔で快適な駅前景観を回復し、地域社会に貢献すると共に、営業基盤拡大による収益力強化を図って参りました。

以上の状況下、平成25年度（第36期）事業の業務内容について、ご報告申し上げます。

JR高槻駅南人工デッキは高槻市が平成23年度から美装化・バリアフリー化工事に着手し、エレベーター、エスカレーター、多機能トイレ設置整備工事が完成し、平成24年度からは南人工デッキの美装化工事も市バス停留場一帯の橋脚補強、改修工事が本格化して往来の混雑が顕著化しておりますが、市民の皆様方が安全安心の利用ができるよう適切な管理運営に努めております。

JR高槻駅南駅前周辺地域の放置自転車・不法駐輪追放撲滅対策としての官・民・事業者の「三者協働事業」の「駐輪機設置による駐輪施設」事業は平成16年9月16日のオープン以来9年半を経過した平成26年3月末現在、駐輪機設置台数1099台（内バイク115台）で管理運営され、中核市高槻の玄関口にふさわしい駅前景観環境と清潔で整然とした駐輪環境が維持管理されております。南人工デッキ改修工事では大丸松坂屋百貨店前の駐輪機は一時撤去の駐輪機44台が3年ぶりに復旧致しました。本年度の駐輪機延利用台数は123万台と高利用率を堅持して、開設以来の駐輪機延利用総累計台数は1千万台の大台を超え1,117万台にも達しました。駐輪施設事業は安全安心のまちづくりとして、整然とした駐輪環境と清潔な駅前景観向上に貢献しております。

当社は高槻市唯一の第3セクターとして、これまで何度も会社存亡の危機に直面し役職員一丸となって環境変化に対応しながら厳しい難局を乗り越って参りました。今後も役職員一同、着実に一歩ずつ長年培ってきた信頼と信用の営業基盤の拡充を図り、より強固な収益基盤となるよう社業に専念し精進を重ね、地域社会の優良企業として社会貢献を果たして参ります。

以上